



院長の1分レクチャー18

【アレルギー検査】

アレルギー検査を希望される動機はさまざまです。

「肌がガサガサしている」「離乳食でじんましんが出た」

「風邪が長引きやすい」「夜中の咳が止まらない」「親がアレルギー体質」

検査は血液検査で、体質を表す検査 IgE と、病気と関係の深い項目をそれぞれ調べます。例えば、

ダニ、ハウスダスト（喘息）

スギ（花粉症）

卵白、牛乳、小麦（食物アレルギー）

などの数値を見て、今後の方針を考えます。最近ではアトピー性皮膚炎の状態を表す TARC という検査も行っています。

咳が続いていてもアレルギーがないことが分かっていたら、咳が止まった時点でお薬をやめられます。それに対して、喘息の体質を持っている子には「しっかり落ち着かせるために予防のお薬を続けましょう」と提案できます。

湿疹や鼻炎でも同じことです。

「アレルギー検査希望」とお伝えいただければ受診当日に検査できます。結果は2-3日後に説明します。費用は中学生以下は530円です。

アレルギーは現代病です。一度チェックしてみるといいかもしれませんね。

- ①アレルギーの体質が分かると治療方針に役立ちます。
- ②費用は中学生以下は530円。3日後に結果をお話しします。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや
公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつか
こどもクリニック